

## 2019年度（第45回）関西ジュニアゴルフ選手権競技（決勝）

◇とき 令和元年7月25日（木）、26日（金）

◇ところ 宝塚ゴルフ倶楽部 旧・新コース

主催 一般社団法人 関西ゴルフ連盟  
関西高等学校ゴルフ連盟  
スポーツニッポン新聞社

### ローカルルール

- アウトオブバウンズは白杭または白線のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- 修理地は青杭を立て白線によってその縁を定める。
- レッドペナルティーエリアは赤杭によってその縁を定める。（新コースのみ適用）
- 電磁誘導カート用の2本のレールは、その2本のレールの全幅をもって1つのカート道路とみなす。
- ジェネラルエリアにある排水溝はジェネラルエリアにある動かさない障害物とする。
- 人工の表面を持つ道路に接した排水溝は、その道路の一部とみなす。
- 防球ネットからの救済を受ける場合は、その障害物の上を越えたり、中や下を通すことなく、完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。このローカルルールに違反して誤所から球をプレーしたことに対する罰：規則14.7aに基づく一般の罰。（旧コースのみ適用）
- 樹木に密着させてある巻物は不可分なものとする。（旧コースのみ適用）
- 特定の用具の使用制限
  - 『適合ドライバーヘッドリスト・ローカルルールひな型G-1』を適用する。
  - 『溝とパンチマークの仕様・ローカルルールひな型G-2』を適用する。
  - 『適合球リスト・ローカルルールひな型G-3』を適用する。
  - 『動力付き移動機器の使用禁止・ローカルルールひな型G-6』を適用する。ただし、新コース第3番から4番、旧コース第8番から9番への移動および委員会が別途、認めた場合や、事後承認された場合を除く。
- 規則10.3aは次のように修正される：プレーヤーはラウンド中、キャディーの使用を禁止する。  
この条件の違反の罰はローカルルールの違反の罰：
  - プレーヤーはキャディーに援助してもらったその各ホールに対して一般の罰を受ける。
  - 違反がホールとホールの間で起きたり、ホールとホールの間まで続く場合、プレーヤーは次のホールで一般の罰を受ける。
- 規則5.5bは次のように修正される：2つのホールのプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない：
  - 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、
  - 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。
- 規則5.2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前にコース上で練習してはならない。
- 危険な状況のためのプレーの中断は、1回の長いサイレンによって伝えられる。  
その他すべての中断は短いサイレンの繰り返しにより伝えられる。どちらの場合も、プレーの再開は1回の長いサイレンによって伝えられる。（規則5.7b参照）
- 競技の短縮  
委員会はコースの状態が適正なるプレー不可能と判断したときは、競技規定に定めてあるホール数を短縮することができる。

15. 修理地の白線で囲まれた区域とその区域につながられた動かさない障害物は、規則16.1に基づいて救済を受ける場合、1つの異常なコース状態として扱われる。
16. 動かさない障害物に白線で繋がれた区域は、その障害物の一部とみなす。
17. 動かさない障害物によって囲まれた造園区域(花壇、低木の植え込みなど)はその障害物の一部とみなす。
18. プレーヤーの球が張芝の継ぎ目にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合：  
(a) ジェネラルエリアの球。そのプレーヤーは規則16.1bに基づいて救済を受けることができる。  
(b) パッティンググリーン上の球。そのプレーヤーは規則16.1d に基づいて救済を受けることができる。
- しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中すべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後どの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレングス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならないことを意味している。
- ローカルルールに違反して誤所から球をプレーした事に対する罰:規則14.7aに基づく一般の罰。

19. コールオン方式

パー3のホールに限り、プレーのペースを全体的にスピードアップするため、先行組のプレーヤーは、自分の組の誰もまだパットを始めていない段階で後続組のプレーヤー全員がティーイングエリアまで来ている場合、グリーン上にある球の位置をマークして総て拾い上げ、後続組のプレーヤー全員がティーショットを済ませるまでプレーを控え、後続の組にティーイングエリアからプレーさせることができる。先行組からプレーすることを求められ、後続組がそれに応じたときは、その段階で後続組の各プレーヤーは、自分の球が他のプレーヤーのプレーを妨げたり援助することになりそうだと思うときは何時でもその球を拾い上げて良い、との許可を先行組に与えたものとみなす。

### 注意事項

1. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
2. グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 練習は指定練習場で行い、打放し練習場では備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱(24球)を限度とする。(アプローチ練習場、バンカー練習場の使用は禁止)
4. スタート時刻15分前には必ずティーイングエリア周辺で待機していること。
5. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあげないように注意のこと。プレーの不当な遅延は、ゴルフ規則5.6aにより罰せられる。
6. ラウンド中、競技者は部外者を近づけないよう十分留意のこと。これを怠ると、ゴルフ規則10.2により罰せられることがある。なお、部外者のコース内立ち入りは禁止する。
7. 使用ティーマーカー  
新コースの男子15~17歳の部は青色、女子15~17歳は赤色、旧コースの男子12~14歳の部は青色、女子12~14歳の部は黄色とする。

競技委員長